

## 延岡市立恒富小学校の学力向上への取組

### 1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

#### (1) 学力調査結果からの課題

- 国語科の話す力・聞く力が低い。
- 理科の観察・実験（技能・表現）の能力が低い。
- 基礎に関わる回答率が低い。
- 個人差が大きいため達成率が低くなっている。

#### (2) 意識調査結果からの課題

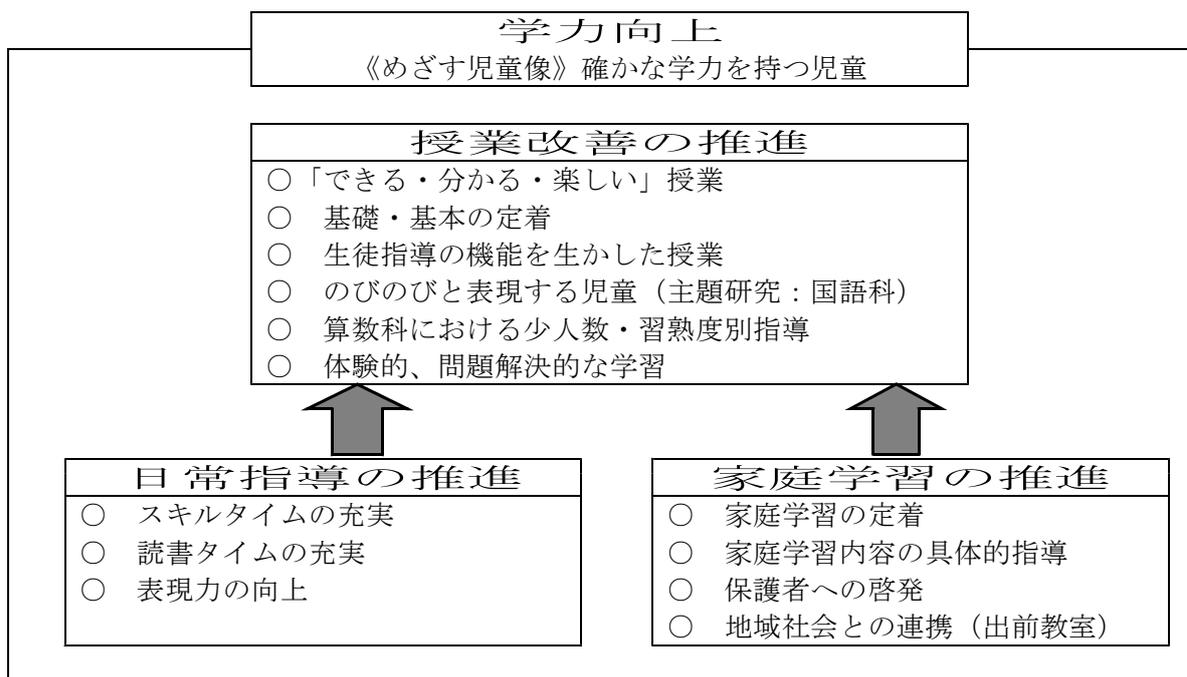
- 生きる力の中でも自己成長力が特に低い。
- 自ら学ぶ力が全体的に低調である。
- 学習意欲がやや低い。

### 2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

#### (1) 学力向上に向けた経営方針

本校では、教育目標「夢（もくひょう）を持ち行動（どりよく）する児童の育成」を具現化するため、学力向上推進プランを立て、学習指導に当たっている。

#### 【恒富小 学力向上推進プラン】



#### (2) 教育課程内の取組

##### ① 「できる・分かる・楽しい」授業を目指した教師の授業力向上

児童の学力向上のためには、教師の授業力向上が不可欠であると考え、校内研修での全員授業の取組や研究授業、管理職の模範授業等を実施した。その結果、指導力の向上が見られ、児童アンケートでは、80%以上の児童が「学習内容がよく分かる」と回答していた。

また、恒富中学校区学力向上プロジェクト会議の取組として、小中3校で授業研究会を年間3回実施し、小中連携を通じた指導力の向上に努めている。

## ② 基礎・基本の定着を図るとともに、学習意欲の向上を図る授業の創造

本校では、児童が主体的に学習に取り組めるように、国語科・算数科を中心に問題解決的な学習を展開している。また、自己存在感を認め、互いに励まし合いながら、できるだけ多くの自己決定の場を取り入れた学習指導を行っている。

## ③ 校内研修（主題研究）の充実

話す力・聞く力が低いという課題を解決する手立てとして、国語科を中心にした言語活動を通して、確かな学力を身に付けのびのびと表現する児童の育成に取り組んでいる。具体的な取組として、音読やスピーチ・群読、視写・聴写等を実践している。

## ④ 算数科における少人数・習熟度別指導

第4～6学年の算数科の授業において、少人数・習熟度別指導を行っている。児童の実態に応じて、補充的な学習や発展的な学習を取り入れることで、個人差の解消が少しずつではあるが図られてきている。

### (3) 教育課程外の取組

#### ① スキルタイム・読書タイム（8：05～8：35）の充実

月	火	水	木	金
スキルタイム 読書タイム	各種集会	スキルタイム 読書タイム	読書タイム (ロング)	スキルタイム 読書タイム

毎朝（火曜日を除く）上記のような計画で、漢字や計算力の向上をねらいとしたスキルタイムを実施している。また、木曜日の読書タイムでは、教師やPTAボランティアによる読み聞かせを行うことで読書好きの児童が増えてきた。

#### ② 表現力の向上

##### ア 表現活動「やまももタイム」の実施

校内放送で、給食時間に児童の作文や俳句などの紹介、朗読などの活動を行っている。意欲的に表現しようとする児童の育成に役立っている。

##### イ 集会活動の充実

全校集会、学年部集会等の時間を利用して、児童の発表の場を設けている。

### (4) 保護者・家庭、地域との連携

#### ① 家庭学習の定着

学年×（10～15分）の学習時間を確保するために、保護者への協力を呼びかけている。また、家庭学習の内容についても、児童や保護者に具体的な例を示すことで、児童一人一人が取り組みやすいように配慮している。

#### ② 保護者への啓発

「子どもたちのよりよい家庭学習のために（家庭版）」を利用して保護者への啓発を図った。

#### ③ 「夏休みパワーアッププラン」の実施

「親子で楽しもう夏休み！」を合言葉に、夏休みに親子で取り組む具体的な活動（学習・生活・健康）を紹介したプランを作り、各家庭へ配付し実践化を図った。

#### ④ 出前教室の実施

夏休みと冬休みに、職員が各担当地区に出向き、学習教室を実施している。公民館などを会場として実施することで地域との連携も図られている。

## 3 成果と課題（今後の取組を含む）

### (1) 成果

- 個に応じたきめ細かな指導を実践することで、児童の学習意欲が高まってきた。
- 発表や表現の場を増やしたことで、自信をもって発表できる児童が増えてきた。
- 研究授業を通しての研修を重ねることで、教師の授業力の向上が見られるようになった。

### (2) 課題

- 自分の将来に対して夢や希望が持てる児童を育てるための具体的な手立てを工夫する。
- 家庭での学習習慣をより一層定着させるために、保護者との連携を更に深める。